



「緑の街に生まれ30年、素晴らしいこの地域とこれからも」

グリーンシティケーブルテレビ株式会社 代表取締役社長 石栗祐一さん

グリーンシティケーブルテレビは、緑に恵まれ都心部に近いこの住みよい地域で、皆さまとのつながりを大切に、放送やインターネット・電話等々のサービスを通じ活動を続けてまいりました結果、このたび開局30周年を迎えることができました。これも地域の皆さまに支えて頂いた賜物と、心より感謝いたします。情報の価値や通信の重要性が増している中

にあつて、身近にしていることの利点を活かしてサポート機能や地域情報を集積・流通させる機能をさらに充実させ、自治体様とも密に連携しながら、今まで以上に役立つサービスをお届けいたします。豊かな暮らし・明るい未来につなげるお手伝いをしてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

地域の情報は そらまめチャンネルに おまかせ！



「トコン」での飲食店ロケ。地域の話題や情報を楽しくレポートします



ロケ現場ではディレクター、カメラマン、音声担当のチームプレーが光ります

番組紹介

モリアワセ
「知ったら〇〇したくなる」がテーマの生番組。地域の魅力をさまざまな角度から伝えます

トコン
「食」をテーマに作る人と食べる人をつなぐ情報を取材。地域のおいしい魅力を届けます

来るくる よしもと
月替わりでやって来る吉本芸人が、地域の人のふれ合いを楽しみながらエリア内を巡ります

ぶらっと もりやま
リポーターが守山区を散策し、街の新たな魅力を発見していく番組です



開局20周年を記念し、「ふれあいフェスタ & 東北支援少年サッカー大会」を開催。東日本大震災支援の一環で、東北地方からサッカーチームを招待し、地元チームとの交流を行いました。現在も、継続して交流を続けています



「モリアワセ」で「尾張旭市民祭」を生中継。スタジオには森羅特装シラバスターも登場しました



イベントを通して 地域とつながる



グリーンシティプラザ1階のコミュニティスペースは、生放送やイベント開催のほか、講座・教室のレンタルスペースとしても貸し出しています

地域の方に感謝を込めて 30周年記念事業

リアル謎解きゲーム

情報求む！～スマイリービーンズのあかせ方～

グリーンシティ周辺のランドマークや店舗を周って謎を解こう！ 全問正解者にグリーンビーズをプレゼント(先着1000人)。さらに、豪華賞品が当たる抽選に応募できます！

- 期間 開催中～11月23日(水・祝)
- 受付 グリーンシティビル1F
- 受付時間 10:00～17:00※土日祝のみ
- 費用 無料

Green City

グリーンシティケーブルテレビ株式会社
〒488-0801 尾張旭市東大通町原田34番地1
0120-150-676 電話受付/9:00～19:00

プロジェクションマッピング

グリーンシティの社屋に、子どもたちが描いた絵を映し出します。

実施日 令和4年11月23日(水・祝) 18:30～
※予備日26日(土)、27日(日)

記念絵本『ゆめってなあに?』制作

名古屋守山区、尾張旭市、瀬戸市を舞台に
グリーンビークンが夢を探る大冒険!

そらまめチャンネル特別企画

視聴者プレゼントをはじめ30周年企画が盛りだくさん!

イベント
詳細は
こちら!



サービスを提供。地域のまつりのステージイベントの企画・運営や、マイナンバーの申請サポート、民俗芸能の継承を目的とした記録映像の撮影など、幅広いニーズに対応しています。また、年間を通じて校区のまつりや地域イベントなどに全社員が持ち回り参加。スタッフとしてイベント

を盛り上げながら、地域の人の交流を深めています。グリーンシティの強みは「人」。社員一人ひとりが成長することで会社が成長し、会社が成長することで地域が発展する。そんな好循環を生み出し、地域の豊かな未来へつなげていきます。

スタジオから 放送中!



巻頭特集 グリーンシティケーブルテレビ株式会社

開局30周年

—みんなをつなぎ 未来につなぐ—

名古屋市守山区、尾張旭市、瀬戸市をサービスエリアとするグリーンシティケーブルテレビ株式会社が開局30周年を迎えました。テレビ、インターネット、電話などの「地域の情報インフラ」とサービスやイベントを通じた「地域社会への貢献」を二本柱に地元へ寄り添う企業として発展を続けています。



カメラマン

一つの番組を数台のカメラで撮影する場合もあります

フロアディレクター

番組を統括するディレクターの仕事をサポートします

アナウンサー

番組の顔。さまざまな情報をわかりやすく正確に伝えます

番組収録を支える副調整室

ミキサー

VTRやマイクなど、音の調整を担当します

スイッチャー

カメラの切り替えやテロップ表示などを行います

ディレクター

時間を管理し、番組を進行します。番組の要

名鉄瀬戸線沿線をエリアに 地元企業の出資で設立

グリーンシティケーブルテレビ株式会社は、平成3年、名古屋鉄道、住友商事、河村電器産業の3社が中心となって設立しました。翌年、名古屋守市、尾張旭市、瀬戸市の出資を受け第3セクターとなり、本社事務所を名鉄大森・金城学院前駅ビルに開設。名鉄瀬戸線沿線エリアで放送サービスをスタートしました。平成7年にかけて放送エリアを順次拡大し、ケーブル接続世帯数は6万6254世帯に上ります(令和4年9月末現在)。平成11年にインターネット接続サービス、平成20年にケーブルプラス電話サービスを開始。その後、4K放送対応や光回線の全域整備、高速

地域とともに発展し 豊かな未来をつくり出す

グリーンシティの「地域元気グループ」は、企業・行政・団体向け

通信10ギガサービスを展開するなど、既存サービスの高度化やサービス領域の拡大に努めています。平成30年に尾張旭市の新社屋へ移転。利用者に対応するグリーンシティプラザにはコミュニティスペースが設けられ、地域の交流の場にもなっています。グリーンシティのオリジナル番組を放送する「そらまめチャンネル」。11チャンネルは、天気や防災情報を中心に構成されています。台風や大雨の増水時には、国土交通省が提供する河川監視カメラ映像の時間帯を増やすなど、地域の安心と安全につながる放送を心がけています。12チャンネルではニュースやイベント、文化・スポーツ、行政情報など、地域密着の情報をお届けしています。一昨年から昨年にかけては、コロナ禍で発表の場をなくした市民たちが出演するスペシャル番組を放送。好評を得ました。4月に始まった「モリアワセ」では、3年ぶりに開催された「せともの祭」を生中継し、「2日目にいらっしゃいませ」など、例年以上の反響がありました。スタッフは視聴者に喜ばれる情報を探して、日々エリア内を駆け回っています。